



# いばらき県議会だより

茨城県議会  検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています  
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.222

## 関東屈指の酒どころ

# 絶品ぞろい! いばらきの酒

茨城県では、久慈川水系、那珂川水系、筑波山水系、鬼怒川水系、利根川水系のもと、おおらかな自然が育んだおいしい地酒が各蔵元の個性で磨かれて誕生しています。

数々の銘酒やうまい酒がそろった関東の酒どころ。そんな茨城県で、あなたにぴったりの、おいしい地酒を探してみませんか。

**久慈川水系**  
株家久長本店、眞井坂酒造店、菊乃香酒造株、眞椎名酒造店、森島酒造株

**那珂川水系**  
根本酒造株、光園、眞剛烈酒造、榎山酒造株、嶋崎酒造株、岡部名

**鬼怒川水系**  
株笹目宗兵衛商店、須藤本家株、株木内酒造1823

**筑波山水系**  
株西岡本店、府中誉株、眞廣瀬商店、稲葉酒造、明利酒類株、吉久保酒造株、株月の井酒造店

**利根川水系**  
結城酒造株、来福酒造株、村井醸造株、株武勇、大吟醸、株西岡本店、野村醸造株、眞浦里酒造店、青木酒造株、梅原酒造株、秋原酒造株、株山中酒造店、株竹村酒造店、金門酒造株、株岡田酒造店、株田中酒造店

**11月1日にリニューアルオープンしました!**

**いばらき地酒バー水戸**  
【場 所】JR水戸駅みどりの窓口隣  
【営業時間】10時~22時  
【定 休 日】年末年始、水戸駅ビルエクセルの休業日に準ずる日

**いばらき地酒バーつくば**  
【場 所】つくばエクスプレスつくば駅 改札正面  
【営業時間】平日:17時~22時  
土・日・祝日:15時~21時  
【定 休 日】年末年始

**「茨城県酒造組合」蔵元一覧**  
<http://www.ibaraki-sake.or.jp/member/index.html>

詳しくはこちらから

飲酒は20歳になってから。

※上記は茨城県酒造組合の加入蔵(令和4年11月1日時点)

## 第4回定例会の概要

令和4年第4回定例会は、10月31日から11月16日まで17日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、茨城県性暴力の根絶を目指す条例、いばらきの豊かな緑を守り育て適正に管理するための条例など、知事から、令和4年度茨城県一般会計補正予算、個人情報保護の保護に関する法律等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例などが提出されました。

一般質問は、茨城の戦略的なPR、脱炭素社会を目指した企業支援、マイナンバーカードの交付率向上などの項目について行われました。(2~3面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、カーボンニュートラル産業拠点創出と環境分野との連携の考え方、霞ヶ浦の湖上体験スクールの実施状況などが議論されました。(4面)

予算特別委員会では、水田農業における電気料金高騰対策と今後の基盤整備、県管理道路における維持管理などの質疑が行われました。(5面)

新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会では、「ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた県の活性化に向けた諸方策の在り方」についてこれまで行ってきた調査結果の委員長報告が行われました。(8面)

決算特別委員会では、閉会中の審査を経て、開会日に委員長報告が行われました。(7面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、認定、報告、意見書、請願などの33件の議案などが可決、同意、認定、承認、採択されました。

### 第4回定例会の 主な日程

令和4年第4回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

- 10月31日(月) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 11月4日(金) 本会 議
- 7日(月) 本会 議
- 8日(火) (一般質問・質疑) 常任委員会
- 11月10日(木) 本会 議
- 11月11日(金) 本会 議 (予算関係議案常任委員長報告等)
- 11月14日(月) 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会
- 11月15日(火) 予算特別委員会
- 11月16日(水) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

- 11月4日(金) 鈴木 将 議員 (いばらき自民党)
- 坂本 隆司 議員 (いばらき自民党)
- 金子 晃久 議員 (いばらき自民党)
- 11月7日(月) 高安 博明 議員 (県民フォーラム)
- 沼田 和利 議員 (いばらき自民党)
- 大龍 愛一郎 議員 (いばらき自民党)
- 11月8日(火) 小松崎 敏紀 議員 (いばらき自民党)
- 石塚 隼人 議員 (いばらき自民党)
- 西野 一 議員 (いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶ [https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai\\_result&gikai\\_id=160](https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=160)



坂本 隆司 議員  
いばらき自民党  
龍ヶ崎市・利根町選出

#### 脱炭素社会を目指した企業支援

議員 脱炭素社会を目指して企業にもさらなる温室効果ガスの削減が求められる中、今後どのように企業の取り組みを支援するのか。  
知事 本県の脱炭素化は、エネルギー構造の転換を目指した抜本的かつ中長期的な取り組みが不可欠であり、基金を活用し企業の設備投資の呼び込みを図る。短期的には省エネ診断などの省エネ対策や再エネ導入を支援する。引き続き、企業の競争力強化につながる脱炭素化の取り組みを支援していく。

#### 子どもたちへの生命の安全教育

議員 加害者にも被害者にもならないための子どもたちへの生命の安全教育を、今後どう進めるのか。  
教育長 性犯罪や性暴力の根絶に向け教育の果たす役割は大変大きい。このため、優良事例を共有し指導方法を工夫・改善するなど、教材の有効な活用方法を指導するなど、教員の指導力の向上を図る。また学校と家庭が連携してSNSの安全な利用のルール作りを進める。  
(ほかに、認知症対策と予防、障害のある生徒の教育環境整備なども質問)



再生可能エネルギー導入例(太陽光パネル)



高安 博明 議員  
県民フォーラム  
日立市選出

#### 県内産業を支える今後の働き手の確保

議員 深刻な人手不足の状況がある中、県内企業が人材確保に取り組むやすい環境づくりを一層進める必要がある。県内企業を支える働き手をどう確保していくのか。  
知事 企業と求職者とのマッチングの機会の提供をはじめ、若者が企業経営者に随行する独自のインターンシップや介護技能実習生に対する介護福祉士の資格取得に向けた独自の人材育成プログラムの実施など、県内企業の働き手の確保を後押ししていく。

#### アフターコロナを見据えたインバウンドによる観光需要の取り込み

議員 インバウンドによる観光需要が高まる中、外国人観光客の誘客に今後どのように取り組むのか。  
営業戦略部長 台湾やタイを対象に誘客プロモーションを重点的に実施している。また、個人旅行者の取り込みに向け、SNSやインフルエンサーを活用した情報発信、都内に滞在する外国人観光客向けのオプショナルツアーの造成促進を図り、誘客につなげていく。  
(ほかに、食料品等の物価高に対応した農産物の生産、先進機器を活用した渋滞緩和なども質問)



台湾大規模プロモーション



鈴木 将 議員  
いばらき自民党  
つくば市選出

#### 茨城の戦略的なPR

議員 本県が行政における広報戦略のトップランナーを目指すためには、SNSなどの新たな媒体とテレビなどの従来からの媒体を、ともに充実させていく取り組みが大変重要と考えるが、所見は。  
知事 本県の魅力を県内外に広く伝えるためには、戦略的なPRが大変重要であり、テレビ局への積極的なパブリシティ活動の展開や、いばらきTVでVtuber「茨ひより」を起用するなど、話題化を意識した取り組みを進めていく。

#### つくば市内の人口増加に対する県立高校の入学定員の対応

議員 つくば市内の県立高校の定員が子どもの増加に追いついていない状況は明らかだが、対応は。  
教育長 つくば市を含むエリアと周辺エリアの中学校卒業生数を推計すると、2030年までに、つくば市から多くの生徒が通学している土浦市、牛久市、下妻市の3市では約500人の減となる一方、つくばエリアでは約700人増となる見込みであり、適切な時期に県立高校の定員を増やしていく必要があると考えている。  
(ほかに、ヤングケアラー実態調査の結果に対する分析、物価高騰の影響を受けている事業者支援なども質問)



県公認Vtuber「茨ひより」の名刺



金子 晃久 議員  
いばらき自民党  
常総市・八千代町選出

#### マイナンバーカードの交付率向上

議員 マイナンバーカードの取得促進に向けて、国が大きくかじを切ったことに伴い、県としても、交付率の向上に向けた側面的支援の役割をしっかりと果たしてほしいと考えるが、今後の取り組みは。  
知事 これまでの対策を強化し、県民が身近な場所で簡単に申請できる環境づくりに一層取り組んでいく。また、カードの普及を基盤として施策を進める立場にある県職員に対して、率先してカードを取得するよう働き掛けていく。

#### 次世代を見据えたマイクログモビリティの推進

議員 交通弱者などの移動を支える次世代モビリティ分野で、本県が全国をリードする存在となれるよう、果敢に挑戦する姿勢を見せてほしいと考えるが、所見は。  
産業戦略部長 企業が取り組む技術開発や、社会課題の解決に向けた実証実験などが、円滑に実施でき、安全性を示す結果が積み重ねられるよう、実験場所の提供や関係機関との調整などに努めていく。  
(ほかに、水害に備えた避難確保計画の作成、学校給食の提供体制の維持なども質問)



搭乗型自動運転モビリティ(4人乗り)



沼田 和利 議員  
いばらき自民党  
牛久市選出

#### 牛久沼の水質浄化

議員 多くの方に牛久沼を訪れていただくためにも、水がきれいだということが大切な要素と考えるが、水質浄化にどう取り組むのか。  
県民生活環境部長 牛久沼に流域から流れ込む汚濁負荷削減が重要なため、生活排水対策、市街地からの流出対策、農地対策などを実施してきた。今後の流域人口の増加を踏まえ、NP型高度処理浄化槽設置や合併処理浄化槽への転換に係る宅内配管工事などへの補助などの取り組みを着実に実施する。

#### 県道土浦竜ヶ崎線バイパス及び県道土浦稲敷線バイパスの整備

議員 県道土浦竜ヶ崎線バイパスおよび県道土浦稲敷線バイパスの整備状況と今後の見通しは。  
土木部長 県道土浦竜ヶ崎線バイパスは、牛久阿見インターチェンジ北側の約1・3キロ区間を、県道土浦稲敷線バイパスは、土浦竜ヶ崎線バイパスまでの約0・6キロ区間を優先して整備を進めている。両路線の優先区間が圏央道の4車線化に間に合うよう整備を推進していく。  
(ほかに、県南地域の振興、高校生の就職活動の支援なども質問)



牛久沼のさらなる水質浄化を

# 一般質問(要旨)



大瀧 愛一郎 議員  
いばらき自民党  
常陸大宮市選出

## 県北山間地域の医療体制の充実

**議員** 県北山間地域の医療資源の不足は子育て世代流出の大きな要因の一つであり、人口の減少と流出がさらに医師確保を困難にしていると感じて居る。医師確保と医療体制の充実はどう取り組むのか。  
**知事** 常陸大宮済生会病院の循環器内科医の確保に重点的に取り組んでいる。ドクターヘリの効率的な運航やドクターカーの基地病院の体制支援、遠隔画像診断治療補助システムの活用促進、広域的な周産期医療体制の充実に取り組む。

## 非居住エリアにおける通信インフラの整備

**議員** 災害・事故時の対応や県北地域の観光振興の観点などから、山間部の県道などでの通信環境改善が必要だが、どう取り組むのか。  
**政策企画部長** 事業主体となる市町村から相談があった際には、利用ニーズの分析や整備の方向性、整備費用を引き下げる方策などについて、携帯電話事業者とも連携しながら一緒に検討していく。



医療体制の充実を(県北山間地域のドクターカー)(常陸大宮市消防本部提供)



小松崎 敏紀 議員  
いばらき自民党  
鹿嶋市選出

## 海洋環境保全のための海岸漂着ごみの回収及びプラスチックごみの削減対策の強化

**議員** 策定中の新たな県環境基本計画に、海岸漂着ごみ対策を含める必要がある。さらに、プラスチックごみの削減も重要と考えるが、これらの対策をどう強化するのか。  
**知事** 国の海洋プラスチックごみ対策の動向を踏まえ、新たな県環境基本計画に海岸漂着ごみ対策を位置付け、将来にわたり取り組みを進める。また、3R※1の推進により、環境保全に関する県民の意識啓発を図り、海域に流出するプラスチックごみの削減に取り組む。

## 保護犬・保護猫を地域で収容できる仕組みづくり

**議員** 県動物指導センターに収容される保護犬・保護猫を地域単位で収容し、地域協議会やボランティア団体などにつなげるスキームの構築を提案するが、所見は。  
**保健医療部長** 守谷市や常総市では、ボランティアが地域の犬猫を収容しており、県でも支援している。これらのモデル的活動の拡大に加え、収容頭数削減に向け地域猫活動※2や動物愛護啓発活動を支援していく。



海岸に打ち上げられた漂着物



石塚 隼人 議員  
いばらき自民党  
坂東市・五霞町・境町選出

## 県有未利用施設の有効活用

**議員** 旧岩井西高校などまちづくりにへの影響が大きい施設の売却処分当たっては、地元市町村の意向を十分に配慮すべきと考えるが、所見は。  
**知事** 一般競争入札での売却が原則だが、地元市町村から、まちづくりの観点での活用などの希望がある場合は売却方法について幅広く検討し、県有財産の有効活用による歳入の確保などを図りながら、継続的な行政サービスの提供に努めていく。



旧岩井西高校

## 女性が生き生きと活躍できる社会の実現に向けた取組

**議員** 女性に選ばれる、持続可能な県を目指すためにも、働き方の選択肢が広がるよう、ロールモデルとなる働く女性を増やすことが必要と考える。県の取り組みは。  
**知事** 県庁での女性登用の取り組みをモデルケースとした企業の取り組みの促進や、働きやすい職場環境の整備に取り組む企業の認定などにより、誰もが能力を発揮できる社会の実現に取り組む。



西野 一 議員  
いばらき自民党  
常陸太田市・大子町選出

## デスティネーションキャンペーン※3を契機とした県北地域の振興

**議員** 県北ロングトレイルの魅力向上と誘客促進が、県北地域の振興に大きく寄与するものと考えている。キャンペーンを契機とした県北地域の振興にどう取り組むのか。  
**政策企画部長** 県北ロングトレイルは、新たな茨城の旅のカタチを提供する魅力的な観光コンテンツと考えている。周辺の食や温泉などに来訪者を誘引する仕掛けづくりを進めつつ、キャンペーンを好機に、一層の交流人口拡大による県北地域の振興に取り組んでいく。



太田西山高校におけるライフスキル教育の授業の様子

## 県立高等学校における魅力ある取組と次世代を担う人材育成

**議員** 太田西山高校におけるライフスキル教育の取り組みをどのように評価しているのか。それを踏まえ、次世代を担う人材育成をどのように進めるのか。  
**教育長** ライフスキル教育は、コミュニケーション能力の向上や人間関係作りの一助となり、生徒のキャリア形成にも寄与する先進的で魅力ある取り組みと考える。広く周知し、子どもたちの個性や能力に応じた教育に取り組んでいく。

### 今定例会で可決された議案など

**議員提出**

- ◆条例の制定
  - 茨城県性暴力の根絶を目指す条例
  - いばらきの豊かな緑を守り育て適正に管理するための条例
- ◆意見書
  - 私学助成の充実強化等に関する意見書
  - 水産加工業者に対する電気料金高騰への支援を求める意見書
- 知事提出
  - ◆令和4年度補正予算関係
    - 一般会計補正予算
    - ◆条例の制定および一部改正
      - 個人情報保護に関する法律等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例
      - 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
      - 茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
      - 茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
      - 茨城県土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例
      - 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
    - ◆人事
      - 土地利用審査委員の任命について
    - ◆認定
      - 令和3年度茨城県公営企業会計決算の認定について
      - 令和3年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について
    - ◆報告
      - 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について
    - ◆その他
      - 令和3年度茨城県公営企業会計に係る資本金の額の減少について
      - 当せん金付証券の発売について
      - 指定管理者の指定について(つくば創業プラザ)
      - 指定管理者の指定について(那珂湊漁港駐車場)
      - 茨城県道路公社の有料道路事業の変更について

**請願**

- 令和5年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願

※意見書および請願の全文は議会ホームページでご覧になれます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/iyori/iyori202211.pdf/kensyoh.htm>

ほか11件

ことば ※2【地域猫活動】…地域住民と飼い主のいない猫との共生を目指し、不妊去勢手術を行うことで猫の繁殖を抑え、餌やり、トイレの管理などを行う活動のこと。  
※3【デスティネーションキャンペーン】…JRグループ6社と地域が一体となり、全国に向けて集中的な誘客宣伝を実施する国内最大規模の観光キャンペーン。令和5年秋に本県での開催が決定している。

# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

**カーボンニュートラル産業拠点創出と環境分野との連携の考え方は温暖化対策担当部局とより一層連携しプロジェクトを推進していく**

**問** いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクトの現状は。年度末改定予定の地球温暖化対策実行計画との連携をどう考えるか。

**答** 産学官の連携強化や一貫した企業支援策の構築に取り組みだ。当プロジェクトが計画に位置付けられた際は、県民生活環境部など関係部局とより一層連携し、プロジェクトを推進していく。

**問** 水郡線の利用促進を目指した協議会の内容と活動は。また、遠くの目的地に自転車で行けるよう、サイクルレーンの運用を拡充できないか。

**答** 県と沿線6市町で構成す



水戸駅における児童絵画展

る水郡線利用促進会議で、児童絵画展などの利用促進活動を行っている。サイクルレーンの件は、実施の可否を含めJRに検討を依頼する。(ほかに、いばらき幸福度指標の考え方、県公館跡地の売却も質問)

## 営業戦略農林水産委員会

**電気料金高騰の影響を受ける土地改良区への対応は農業水利施設の電気料金高騰分の一部を支援する**

**問** 土地改良区の経営における電気料金高騰の影響をどう捉え、どう対応していくのか。

**答** 全ての土地改良区に電気料金高騰の影響調査を実施し、昨年比で5割以上値上がりしている状況を把握した。今後、省エネルギー化に取り組み土地改良区に対して農業水利施設の電気料金高騰分の約半分を支援する。

**問** インバウンド需要の取り込みに向け、デスティネーションキャンペーンの活用が効果的と考えるが、所見は。

**答** デスティネーションキャンペーンで提供される100を超える特別企画は、外国人



揚水機場などの農業水利施設

にも訴求できるため、茨城の魅力ある体験コンテンツを積極的にPRし、インバウンド需要の回復につなげていく。(ほかに、高病原性鳥インフルエンザの防疫措置、フラワーパークの集客なども質問)

## 防災環境産業委員会

**霞ヶ浦の湖上体験スクールの実施状況は今年度はこれまでに94回、2758人が参加している**

**問** 霞ヶ浦の湖上体験スクールの実施状況は。今年度はこれまでに何回、何人が参加しているか。

**答** 今年度は抽選で参加者を決定したが、落選した学校も希望により湖上体験スクールに参加できるよう追加事業を実施し、これまでに合計94回、2758人が参加している。

**問** いばらきeスポーツ選手権の特色や効果は。

**答** 県内の高校生がeスポーツのナンバーワンを競う大会であるほか、成績上位者が県外や海外の高校と交流戦を行い、レベルアップを図るといった特色がある。また、若い世



eスポーツを通じたデジタル人材の育成を

代にeスポーツと親和性の高いデジタル関連の仕事に関心を持ってもらい、デジタル人材の育成にもつなげていく。(ほかに、119番映像通報システムの広報活動、いばらき地酒の取組みなども質問)

## 土木企業立地推進委員会

**圏央道インターパークつくばみらいの雇用と投資の効果は多くの雇用や設備投資が見込まれる**

**問** 圏央道インターパークつくばみらいに日清食品株式会社などの立地が決定したが、雇用と投資の効果は。また、県内中小企業の立地ニーズへの受け皿確保の取り組みは。

**答** 多くの雇用や設備投資が見込まれる。中小企業の受け皿確保には、未来産業基盤強化プロジェクトなどを活用し、市町村と連携して対応する。

**問** インフラツーリズムの継続的な推進と建設業の担い手確保などに向けた情報発信の今後の取り組みは。

**答** 国や地元、民間事業者と連携し、県内ダムを活用したイベントなどに今後も取り組



着々と工事が進む圏央道インターパークつくばみらい

む。建設フェスタや現場見学会、SNSなどを活用し、積極的に情報発信していく。(ほかに、県管理道路における除草などの方針と考え方、ペットボトル水を活用した水道普及啓発の取り組みなども質問)

## 保健福祉医療委員会

**物価高騰に対する医療機関などへの応援金は十分でないのではないか意見を踏まえ対応を検討していく**

**問** 医療機関の節電には限界があり、入院食なども値上がりする中、高騰部分を転嫁できない。県は補正予算で応援金を計上したが、県民の命を守る医療従事者の窮状に鑑み、予算拡充や施設規模に応じた給付などを検討いただきたいが、所見は。

**答** 多業種で影響がある中、医療機関には特に応援金を創設した。追加の支援については、意見を踏まえ検討する。

**問** ヤングケアラーの実態調査は、中高生の回答率が2割と低かった。手法などの改善や教育庁との連携により回答率向上に努めていただきたいが、所見は。

**答** 多業種で影響がある中、医療機関には特に応援金を創設した。追加の支援については、意見を踏まえ検討する。



ヤングケアラーによる幼いきょうだいのケア

が、所見は。  
**答** 中高生にはウェブで全数調査を行った。3万人を超える生徒から回答があり、統計として支障はないが、次回は教育庁との連携を強化し回答率向上に努める。(ほかに、へき地等における医療体制整備、生活福祉資金貸付金の償還なども質問)

## 文教警察委員会

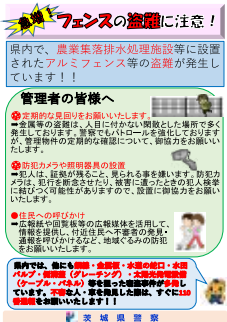
**多発する金属盗への対策は金属買取業者への立ち入り検査などを強化している**

**問** 農業集落排水施設のフェンス盗難など、金属盗が多発しているが、どのような対策を行っているのか。

**答** 犯罪抑止の機運醸成のためのチラシ作成に加え、金属買取業者への立ち入り検査、防犯カメラ捜査、警戒パトロール活動などを強化している。

**問** 昨年度の不登校児童生徒が過去最多となる中、誰一人取り残さない教育に向け、どう取り組んでいるのか。

**答** 新たな不登校児童生徒を出さないために、安心して過ごせる学校づくりを推進している。また、児童生徒が気軽に相談できるよう、全ての公



金属盗被害対策を呼び掛けるチラシ

立の小中学校にスクールカウンセラーを配置している。今後は、現在取り組んでいるフリースクール研究事業の成果を広げていきたい。(ほかに、自転車への反射材の普及、いじめ問題への対応なども質問)

# 予算特別委員会

## ●質疑者

11月15日(火)



こちらから録画映像をご覧いただけます。

- 水柿 一俊 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (県民フォーラム)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 鈴木 義浩 (いばらき自民党)
- 田村 けい子 (公明党)
- 外塚 潔 (いばらき自民党)

[https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai\\_result&gikai\\_id=160](https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=160)

要な場合、街路樹の伐採を行っている。伐採に当たっては、地域の実情に応じた対応が必要である。まちづくりの方針などを踏まえ、地元との合意形成を図りながら、街路樹の伐採を含めた適切な維持管理に努めていく。

(ほかに、地域公共交通の維持・充実、児童・生徒の不登校対策なども質疑)

**山中たい子委員(共産)** 児童虐待相談件数が増える中、国の指針で児童相談所はおおむね50万人に1カ所設置とされている。管内人口がそれを超えている土浦児童相談所の増設と一時保護所の併設を求めるが、所見は。

**知事** 児童福祉司・児童心理司の配置について県独自の加配を行うなど体制を整備しており、土浦児童相談所でも現状で十分な対応が取られている。また、民間の児童養護施設に一時保護専用施設を指定するなど一時保護の受け入れ体制も整っている。今後必要に応じてさらなる体制強化も検討していく。

(ほかに、東海第二原発の再稼働問題、洞峰公園パークPFI事業におけるアンケート結果と今後の対応なども質疑)

**鈴木義浩委員(自民)** 英語の学習意欲の高い中高生を対象に、将来のグローバル人材の育成を目的として実施している次世代グローバルリーダー育成事業<sup>※1</sup>のこれまでの成果と今後の取り組みは。

**教育長** ワールドスカラズカップ<sup>※2</sup>で受講生5人がメダルを獲得したほか、今年度は3期生2人がユナイテッド・ワールド・カレッジ<sup>※3</sup>に合格し、オランダなどに派遣されるなど、世界へ羽ばたく人材の育成につながっている。今後、当事業におけるグループディス

カッションなどの手法を中学校・高校向けに示し、県内全体に広げていく。(ほかに、農産物の輸出、鹿行地域の儲かる農業の振興も質疑)

**田村けい子委員(公明)** 経済的理由でフリースクールに通えないというところがなく、フリースクール連携推進事業<sup>※4</sup>の補助要件を見直すとともに、多様な学びの確保に向けた情報提供の強化が必要だと考えるが、所見は。

**教育長** フリースクール連携推進事業については、経済的な事情を抱える世帯に、より適切な支援ができるよう検討していく。また、不登校児童生徒の学びを確保するには、一人一人の状況に応じたフリースクールなどの民間施設を含めた情報を児童生徒や保護者に提供することが重要であることから、情報発信の在り方を検討していく。

(ほかに、HPVワクチンの接種促進、動物愛護行政の推進なども質疑)

**外塚潔委員(自民)** 高病原性鳥インフルエンザへのこれまでの対応状況や今後の具体的な対策は。

**農林水産部長** 今般の防疫措置では、令和3年2月に本県で発生した高病原性鳥インフルエンザの経験を踏まえ、鶏を効率的に殺処分するため、鶏舎からの鶏の取り出し方法を改善し、11月13日に殺処分を完了した。今後は、飼養衛生管理基準の順守状況の再点検の実施や消毒の徹底など、養鶏場の発生予防対策を一層強化し、今般の防疫措置の内容の検証や、万が一発生した場合の迅速かつ効率的な防疫措置が実施できるような作業の改善を図っていく。

(ほかに、物価高騰等に伴う医療機関等への支援、信号機の設置なども質疑)

## 永年在職議員表彰

10月31日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

35年在職	海野 透 議員	15年在職	戸井田 和之 議員
25年在職	細谷 典幸 議員	〃	石井 邦一 議員
20年在職	福地 源一郎 議員	〃	館 静馬 議員
〃	伊沢 勝徳 議員	10年在職	飯田 智男 議員
〃		外塚	潔 議員

## 令和4年度11月補正予算案が可決

コロナ禍における原油価格・物価高騰などへの対応として、経営環境が特に悪化している事業者への応援金の給付などを行うほか、新型コロナウイルス感染症の拡大防止や県政の課題などへ対応するために必要な事業について計上した11月補正予算案(約158億7900万円)が可決されました。

### 11月補正予算案に計上された主な事業

- 1 コロナ禍における原油価格・物価高騰等対策(約122億2100万円)
  - 新 事業継続臨時応援金(コロナ禍や物価高騰の影響により経営環境が特に悪化している事業者への応援金の給付)
  - 新 土地改良区省エネルギー化促進事業(省エネ化に取り組む土地改良区に対し農業水利施設の電気料金高騰分の一部を補助)
  - 新 新型コロナウイルス対応医療機関等物価高騰応援金(発熱外来など感染症対応に取り組む医療機関などに対する応援金の給付)
  - 2 感染拡大防止策と医療提供体制の整備等(約32億5400万円)
    - 新 産科医療機関院内感染防止対策事業(新型コロナウイルスに感染した妊産婦の入院受入体制整備のための設備整備などの補助)
  - 3 県政の課題等への対応(約7700万円)
    - 新 G7内務・安全担当大臣会合準備事業(2023年G7内務・安全担当大臣会合の開催に向けた準備)
  - 4 その他(約3億2700万円)
    - 県税に係る過誤納還付金等関連事業(法人事業税の大口還付が生じたことに伴う県税過誤納還付金などの増)

# 各会派 今任期4年を 振り返って

いばらき自民党



いばらき自民党  
議員会長

白田 信夫

どこに対する支援、自  
粛に伴う地方経済の  
救済などを求める一  
方、各定例会では、  
県民や事業者の声を  
もとに論戦を展開し  
てきました。

## 「愛郷無限」心に 刻みながら

新型コロナウイルス禍の  
収束が見通せない中で行わ  
れた県議選で、いばらき自  
民党は安定多数を確保し、  
県政の責任政党として引き  
続き、県勢の発展と県民福  
祉の向上に取り組むことにな  
りました。県民の皆様の変  
わりぬご支持に対し、心  
より感謝を申し上げます。

新生県議会が年明け早々  
に始動するのに当たって、  
この任期を振り返ると、や  
はり、新型コロナウイルスへの対応  
対策に追われた4年間で、わが  
会派は、本県で感染者が初  
めて確認された1カ月以上  
も前の令和2年2月6日に  
は、大井川和彦知事に「緊  
急要望」を提出、素早い対  
応だったと思います。

それ以降、感染状況や影  
響などを捉え、節目、節目  
で知事要望を繰り返し、医  
療従事者への慰労や、営業  
自粛を強いられた飲食店な  
どもに積極的に取り組んでき  
ました。直近の第4回定例  
会では、「茨城県性暴力の  
根絶を目指す条例」など2  
本が議決され、今期8本、  
通算では24本となり、全国  
トップレベルです。

いじめ根絶やヤングケア  
ラー支援、残土問題、小規  
模企業振興、犯罪被害者支  
援など幅広いテーマに向き  
合ってきたのも特徴です。  
こうした活動の原点にあ  
るのは、故梶山静六元官房  
長官が政治信条としてきた  
「愛郷無限」です。故郷を  
思う熱い心が源泉と説いた  
ものですが、それは、県議  
会がロシアによるウクライ  
ナ侵攻の翌日の2月25日に  
全国で最も早く断固抗議す  
る決議を採択したこととも  
重なるでしょう。

我々は改めて、感染拡大  
の防止と社会経済活動の回  
復に向けてしっかりと取り組  
むことが、県民の負託に応  
えることであるとの決意を  
新たにしたところです。県  
民の皆様のご支援とご協力  
を切にお願いいたします。

県民フォーラム

フォーラム  
議員団  
代表  
齋藤 英彰



県民フォーラム  
議員団  
代表  
齋藤 英彰

## 「自由、共生、未来へ の責任」を理念に

年の瀬を迎え、皆様方におかれま  
しは、ご多忙の日々をお過ごしのこと  
と存じます。このたびの県議選では県  
民フォーラム候補へのご支援、ご協力  
をいただきましたこと心から感謝を  
申し上げます。

さて、今任期を振り返りますと、令  
和元年東日本台風をはじめ、令和4年  
の福島県沖地震など自然災害が頻繁に

発生しました。災害から県民の生命と  
財産を守る対策の強化と復興再生の着  
実な推進を図ってまいりました。また  
直近の3年間は新型コロナウイルス感  
染症対策として、これまでに26回の補  
正予算の審議などを行い、大きな影響  
を受けている中小企業や県民生活の支  
援を最優先課題と位置付けて活動を進  
めてまいりました。

人口減少社会の中にあつて、地域間  
競争、地域間格差の拡大、働き方改革  
雇用対策、出会いから産み育てやすい  
環境整備、互いに支え合う共生社会な  
ど、県民の皆様が真の豊かさを実感で  
きる「いばらき大県」の実現を目指し  
てまいります。

公明党

明 党  
議員会  
代表  
高崎 進



明 党  
議員会  
代表  
高崎 進

## 命を守り、希望が持てる 安心な暮らし

師走を迎え、皆様方にはご多忙の日  
々をお過ごしのことと存じます。先の  
県議選では、公明党の候補者に温かい  
ご支援を賜り、心より感謝申し上げま  
す。

今任期を振り返りますと、令和元年  
10月に発生した令和元年東日本台風に  
よる豪雨災害への対応が挙げられます。  
私ども公明党では、台風による被災が

明らかにや、いち早く現場に入り、  
被災者に寄り添った復旧活動に取り組  
むとともに、知事に対し被災者の切な  
る声を要望書として提出しました。

また、令和2年に発生した新型コロナ  
ウイルス感染症の対策であります。  
感染症の状況が悪化する中で、県民の  
命や安全を守り、県内経済への悪影響  
を最小限にとどめるべく、県による大  
規模接種会場の設置や中小企業への支  
援など、知事に対し緊急要望を行つた  
ところであり、素早い対応であったと  
思います。

日本共産党

日本共産党  
日茨  
議員団  
代表  
山中 たい子



日本共産党  
日茨  
議員団  
代表  
山中 たい子

## 全国8位の財政力に ふさわしい県づくりを

先の県議選では、あたたかいご支援  
をいただき、ありがとうございます。  
子育て・しごと・老後に希望をもつて、  
安心して暮らせる茨城をつくれるよう  
力を尽くします。

さまざまな要望や相談が寄せられま  
した。物価高やコロナ感染症対策はも  
ちろんのこと、安定した雇用と賃上げ、  
地域医療の充実、高齢者・障害者福祉

の向上、子育て支援と教育環境の整備  
難病や医療的ケア児への支援、公共交  
通の確保や防災対策など、どれも切実  
な願いです。

また、東海第二原発の再稼働の工事  
が2024年9月完了予定とされてい  
ますが、老朽原発の運転はあまりに危  
険です。県の判断が問われます。「再  
稼働ストップ」の一点で共同の運動を  
ひろげましょう。

立憲いばらき

立憲いばらき  
代表  
設楽 詠美子



立憲いばらき  
代表  
設楽 詠美子

## 一人一人に寄り添って

夜空の星が美しくなり、県民の皆様  
におかれましては年越しの準備でお忙  
しくしていることと存じます。このた  
びの県議選では、皆様の温かなご支援  
に心から感謝いたします。

今期の4年間はコロナ対策の活動が  
中心となりましたが、児童生徒・女性  
の自殺は過去最多となり、深い不安や  
生理の貧困などさまざまな課題に直面

しました。世界では児童労働が増加に  
転じ、学校に行けない子どもたちが増  
加傾向に向かっていきます。私たちは、  
できることから行動します。一人一人  
に寄り添い、丁寧に対応し解決に結び  
付くよう歩を進めてまいります。

さらに未来に向けて、全ての子ども  
たちのチャレンジの土台を作る茨城県  
独自の奨学金制度の創設やオーガニッ  
ク学校給食、高齢者の皆様が安心して  
暮らし最期を迎えられる環境を整えて  
まいります。特に、在宅医療介護の充  
実は重要であり、医療従事者の確保の  
ためにも医学や看護・介護を学ぶこと  
ができる学校作りを力を注ぎます。

### 議員提案により「茨城県性暴力の根絶を目指す条例」が制定されました

第4回定例会で、議員提案による「茨城県性暴力の根絶を目指す条例」が可決・成立しました。準備期間が必要な一部の規定を除き、令和4年11月21日から施行されています。

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじり、その心に長期にわたり重大な影響を及ぼす極めて悪質な行為です。また、性暴力により被害を受けた方に責任があるとするような誤った認識や偏見などにより、心を傷付けられ、社会生活に支障が生じるなど、苦しんでいる方が多い状況にあります。

こうしたことから、条例では、性暴力の根絶と性暴力により被害を受けた方の心身に受けた影響からの回復の支援などに関し、基本となる施策などを定めています。

法令や茨城県犯罪被害者等支援条例に基づく施策と相まって、性暴力の根絶と性暴力により被害を受けた方への支援などに関する施策を総合的に推進することにより、県民が、安心安全な生活を営むことができる県を目指します。

条例に定める主な内容は、次のとおりです。

#### 《総合的な相談体制の整備など》

○性暴力に関する総合的な相談体制の整備や、専門的な相談対応、医療機関や警察への付添いなど被害の直後に必要な支援、法的援助などの施策を講ずることについて規定しています。

#### 《性暴力の再発防止など》

○性暴力の再発防止などのための措置や、加害者からの相談対応などについて規定しています。

○特に子どもに対する重い性犯罪を行った者に対しては、県への届出を求め、その再犯防止などに重点的に取り組むこととされています。

#### 《総合的な教育の推進など》

○学校や保育所などにおいて、3歳以上の子どもとその保護者に対して、「生命の安全教育」をはじめとする発達段階に応じた性暴力の根絶に資する教育や啓発を行うことを規定しています。



条例の提案説明を行う外塚潔議員

※条例の全文は議会ホームページでご覧になれます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/jourei/img/seiboryoku.pdf>



本県の議員提案政策条例は、これらの条例で24件目になります。

県議会は今後も、積極的に政策立案に取り組んでまいります。

### 議員提案により「いばらきの豊かな緑を守り育て適正に管理するための条例」が制定されました

第4回定例会で、議員提案による「いばらきの豊かな緑を守り育て適正に管理するための条例」が可決・成立しました。令和4年11月21日から施行されています。

本県は深い緑に恵まれ、緑はさまざまな形で私たちの生活に寄り添い、恩恵をもたらしています。海岸線の松林は災害などから私たちを守り、白砂青松の景観を作り出し、豊かな森は水を蓄え、命をつないでおり、こうした緑は、植え、守り育て、受け継がれてきたかけがえのない財産です。

しかし現在、気候変動による自然災害が多発するなど、人と緑の関係が危機に直面しています。

この条例では、水源のかん養、地球温暖化や災害の防止、景観の形成など、森林や樹木が持つ公益的機能を持続的に発揮させ、活用を図るための基本的な施策などを定めています。

森林や樹木との関わりを見直すことを通じて、県土を強靱化し、県民の暮らしを守り、潤いのある県民生活の実現を目指します。

条例に定める主な内容は、次のとおりです。

#### 《森林・樹木の適正な整備・管理の推進》

○森林・樹木の計画的な植栽、せん定、伐採への支援や、災害防止のための治山対策などの推進、樹木医などの専門技術者の育成などについて規定しています。

○森林開発の適正な実施や、公共工事などにおける森林・樹木の公益的機能の保全への配慮などについて規定しています。

#### 《防災林の整備や樹木の適正な管理》

○海岸防災林の積極的な整備や、松くい虫の防除の推進について規定しています。

○道路や河川、公園などの樹木の計画的かつ適正な管理について規定しています。

#### 《県民参加の促進》

○森林・樹木の整備や管理に関する県民の理解と関心を深めるための普及啓発、森林・樹木の所有者の意欲の高揚、民間団体などの自発的な活動の促進について規定しています。



条例の提案説明を行う岡田拓也議員

※条例の全文は議会ホームページでご覧になれます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/jourei/img/midori.pdf>



### 「決算特別委員会」を開催しました

本委員会（半村登委員長）は、第3回定例会で付託された令和3年度茨城県一般会計決算などの議案を審査するため、9月21日に総括説明、10月3日、11日および24日に三つの分科会による部門別審査、10月24日に総括質疑を行った上で採決を行い、四つの決算議案を可決および認定しました。

今年度の決算の審査は、昨年の県議会改革推進会議の答申を踏まえ、決算審査の見える化と迅速で詳細な審査を図るため、組織や審査方法を見直した上で行われました。

分科会における部門別審査では、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業に関する県民の目線に立った適正規模の予算執行」、「公平かつ県民の誰もが納得できる税外未収債権対策」、「県総合計画における主要指標の評価方法」など、詳細な質疑応答が交わされました。

分科会終了後に行われた総括質疑では、「コロナ対策の予算規模と財源」、「中小企業への融資による効果の把握」、「県庁におけるDXによる業務改革推進の具体的導入効果と今後の展開」、「事業内容を踏まえた県出資団体の経営形態」、「茨城県常陸那珂港区整備の事業予算と実績」など、部門別審査を踏まえた総括的、横断的な質疑応答が交わされました。

また、審査の過程で委員から出された「物価高騰を反映した来年度の予算編成のあり方」、「費用対効果を踏まえた事業実施」、「県民の要望に対応した信号機の新規設置数の増」など34項目を審査の成果として取りまとめ、執行部に改善要望しました。

改善要望に対する対応状況については、令和5年第1回定例会の常任委員会で執行部から報告の上、確認を行う予定です。決算議案は、第4回定例会の開会日の本会議で先議され、早期認定が図られました。



執行部へ要望書を手渡す半村登委員長(中央)と山岡恒夫副委員長(右側)



総括質疑の様子

### 「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」の調査結果を報告しました

本委員会(常井洋治委員長)は、「ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた県の活性化に向けた諸方策の在り方」について調査・検討を重ね、定例会最終日に調査結果を報告しました。

(調査期間：令和4年3月24日～11月16日)

#### 【主な提言内容】

##### 1 社会経済活動の対応

- 「いば旅あんしん割」のような観光施策を推進するに当たっては、ダメージの大きい交通事業者を支援する観点から戦略を立てる必要がある。
- 水際対策の緩和に伴い、本県が「外国人労働者を選ばれる県」となるため、言語の問題や感染症対策など不安を払拭する対策が必要である。
- 飲食業者に対しては、新たなビジネスモデルに沿った業態への転換も選択肢の一つとなるよう、積極的に支援していくべきである。

##### 2 教育現場の対応

- コロナ禍で不登校などが顕著にある中、これまで以上に目配り、気配りを心掛け、子どもたちのメンタル面をサポートしていく必要がある。
- 不登校などの問題を解決するためには、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、外部人材のさらなる活用が必要である。
- 教員が効果的な感染対策について真剣に考えるための取り組みや、学校と地域が一丸となり子どもたちの命と健康を守るための取り組みが必要である。

##### 3 県民の命と健康、安全安心な暮らしを守る医療・福祉・警察等の対応

- 県民に行動制限などを求めるベースとなる以上、県独自の対策指針や判断指標については、県民が理解しやすく、信頼されるものでなければならぬ。
- 感染拡大防止につなげるためには、知事の記者会見などにおける専門家の同席なども含め、専門家の意見が県民に伝わるようにする視点が重要である。
- 知事はじめ県執行部は、「県議会災害対策会議」などの協議の場を通じて、県民の代表である県議会の声にしつかりと耳を傾ける必要がある。
- 抗原検査キットの活用が見直される中、配布した検査キットの在庫情報や流通状況について、広く共有するための仕組みを構築する必要がある。
- コロナ禍での困窮世帯に対して必要な支援が届けられるよう、行政側からの積極的なアプローチによる支援をさらに推進する必要がある。
- 警察の留置施設内における感染防止対策については特に徹底するとともに、警察としての業務継続に向けた取り組みを進める必要がある。

#### 【主な総括】

○県民に改めて基本的な感染予防対策を呼び掛ける視点を大前提にしながらも、「感染抑制と社会経済活動の両立」を基本とする従来の姿勢については、ウィズコロナにおいて保健医療提供体制の再点検・充実強化を図りつつ、徐々に社会経済の活性化へと軸足を移していく必要がある。そこそが、ポストコロナにおける本県のさらなる発展に向けて、正鵠を射た新たな方向性へつながっていく。

※報告書の全文は議会ホームページで閲覧いただけます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/report/covid-19/07houkokusho.pdf>



調査結果の報告を行う常井洋治委員長

### 「G7関係閣僚会合誘致推進協議会」を開催しました

第4回G7関係閣僚会合誘致推進協議会(海野透会長)が11月11日に開催され、各委員および伊沢勝徳議長が出席しました。会議では、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合の開催決定を受けて、会合の主官庁である警察庁への要請活動の結果を報告するとともに、執行部から、開催に向けての今後の取り組みなどについて説明聴取を行いました。

その後、これまでの協議会で委員から出された意見などを取りまとめた提言案を審議・決定し、執行部へ提言書として手渡しました。G7関係閣僚会合の誘致を目的に設置された協議会の活動は、今回で終了となることから、閉会に当たり海野透会長より、「県民に国際会議の開催を有意義に感じてもらうための開催機運の醸成や、各国閣僚などの参加者に対する心のこもったおもてなしの提供など、執行部においては協議会からの提言の趣旨を汲み、水戸市と連携の上、万全の体制で準備を進めていただきたい」との挨拶が述べられました。



執行部へ提言書を手渡す海野透会長(中央)と中村修副会長(右側)

### 常磐大学で「出前委員会」を開催しました

県議会では、開かれた議会を目指し、県議会議事堂以外の場所でも、県議会の活動を身近に感じていただくため、常磐大学において保健福祉医療委員会(川口政弥委員長)の出前委員会を開催しました。

#### 【開催結果】

- 日時 10月13日(木)午後1時
- 場所 常磐大学見和キャンパス
- テーマ 医療・福祉分野における人材確保等対策
- 医療・福祉人材の確保対策等
- 在宅医療・訪問看護の拡充策
- 福祉分野におけるアウトリーチ体制の確立に向けた方策
- 県立病院における医療人材の教育・研修機能の強化



常磐大学における出前委員会の様子

### 「情報委員会」をオンラインで開催しました

10月21日、情報委員会(鈴木将委員長)において、緊急時のオンライン開催に備え、機器などの習熟のため、試行的にオンラインによる審議などを行いました。



オンラインによる開催の様子



県議会議員 岡田拓也氏 逝去

岡田拓也氏は、去る11月21日に逝去されました。45歳。岡田氏は、平成26年の県議会議員選挙(高萩市選挙区)で当選され、以来3期、県議会議員の職にありました。その間、防災環境産業、文教警察、保健福祉医療委員会の委員長などを歴任されました。ご冥福をお祈りいたします。